



普通に生きてみる

先日、或るテレビ番組で若い視力障害者の方の生きてこられた日々が放送されていました。生来のものではなく、小学校入学後、徐々に視力をなくされた熊本的女性でした。

視力をなくされて以来の本人、家族、周囲の方々の努力は、誰にも分かりようがないものであったろうと思われまます。視力を失うまでの経験、知識を出発点として、視力のない世界へ、一步一步ふみだしておられます。彼女には普通の人のように生きたいという強い意志がありました。又、彼女には彼女をできるだけ普通に生きてい

No. 3
S62.7.25
一発行一
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
Tel'096-293
8100

かせたいと支えておられる御両親や信じていることのできる人達がおられます。

この方々と彼女とは言葉によって意志の疎通や理解ができません。

こうして彼女は視力のない世界を広げ、普通に生きようとしているようです。盲導犬との生活を作り上げ、女子大を卒業し、単身で渡米し、あちらの視力障害者の方の生活に触れるという経験をやりとげています。それから結婚され、そのウエディング姿でテレビは終わっています。

療育の基本的なことから、上記のような『疾病理解』、『治療意欲』、『信頼関係』、『言葉によ

る表現や意志の疎通』などが弱い私達の子供が彼女のように普通に生きる喜びを知ってくれるようになるのは何時のことでしょうか。その道がいかに遠くとも、それを目指さなければ私達自身の人生も生き生きとしたものにはならない。

理事長、 田中 稔

にうふえいす

看護婦の

出水です

六月末から週に三日間、保健担当として、お手伝いに来ています。三気の里の園生、それに指導員のお兄さん、お姉さんの若さと元気に目をまあるくしている三七歳のおばさんで三児の母です。

住まいは菊陽町で、園には十二年目の愛車でやって来ています。どうぞよろしくお願ひします。

一一人三脚

園長 土井尚典

園生が園に慣れて来るといろいろなイタズラをします。ただし、本人にとっては決してイタズラでなく、「大事な仕事」であります。例えば2階から物を投げてしまふとか、本や服を破くとかです。自分の物をこわす場合はある程度仕方がないとあきらめもつきます。人の物を壊すとなると壊された方はガツカリが強くなります。又、壊した方は心配が増えます。壊された方は子供だけでなく親もガツカリします。親は子供の喜ぶ顔や成長を思つて買つてあげたり、作つてあげたりしているからです。子供の持ち物一つ一つに親の想いがこもっているからです。人の物を壊した子供の親はどんな思いをしているでしょう。物を壊す行動が子供にあると言う事によつ

て親がどれほど悩んだり苦しんで来たかは誰にもわかりません。

おそらく、口では言いあらわせない大変な想いをして来た事と思います。そして今も続いていると思います。壊す方も壊される方も親の傷みがあります。障害ということとは子供たちだけでなく親にとつても私達の想像を越えた経験をして来ていることでしょう。

いつもお母さん方のたくましさには恐れ入ります。明るさとたくましさを受け継いで御父兄と二人三脚でのんびりとそして休まず子供たちの成長を援助できればと願います。

フクフクフクフクフクフクフクフクフク

ひとつ大きく

なつたよ

『お誕生日、おめでとう』

今回、六、七月誕生会の主役は、しんちゃん、しげちゃん、みっちゃん、まーちゃん、やっちゃん、けんちゃんの六名でした。

食堂はパーティー会場に早変わり。ディナーも、大きなお皿にエビフライなどのごちそう、そして麦茶の湯のみならぬグラスがキラッと光り、ちょっとシヤレています。

おはしを握りしめる子供たち。ちょっと待ってー今日はお祝いです。

六名、一人一人立って紹介され、お兄さんお姉さんより心のこもったメッセージカードが渡されました。ペコリと頭を下げる人、テレくさそうにニッコリしている人、そして、ごちそうを前にゴクンとつばを飲み込みながらおめでとうの拍手を送ってくれる友達。お家でもみんなが元気に過ごせるようきつと祈つておられたことでしょう。

いただきますのかわりに、ジュースで乾杯ー
フクフクフクフクフクフクフクフクフク

報道特集

THE七夕フェスタ

外作業班

さあ！七夕に願かけてと、思い思いの短冊を綴ろうと意気込んで『世界旅行がしたい』『もうちょっと大きな胸を？』『結婚したい』『彼氏が欲しい』とぜい沢な願いばかりなのは職員ばかりで、きっと神様は呆れることでしょうね！。と言う私もこっそり『若くなりたい』と書きました。

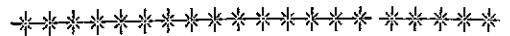
ところが、我が外作業班の主役達は耳をふさいで無関心、紙に芸術を描いてはハサミで切り抜いてはごみばこに、大好きな魚や折り紙をきれいに型どっては糊でつないだり、スイカ・メロン・ぶどう・バナナと果物を描いては、色を塗り目の色かえたりしていました。

みるみるうちに、七夕飾りが山積みになり、担当者は青い顔といった様子でした。

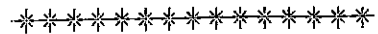
七夕はあいにくの雨でしたが、皆は七夕飾りの前でおおはしゃぎで写真撮影、ハイポーズ！

七夕祭り

7月7日に、七夕祭りを行います。笹飾りを1週間前から午後5時の作業時間などを利用して作りました。みんなのはさみを使うのが上手なのには驚き、また班ごとにいろんな個性ある笹飾りができました。七夕の日には、朝のホームルームの時間に、おり姫とひこ星の話しをペープサートを使っ



ました。午後からは、短冊にそれぞれ願いごとやいろんな夢を指導員のお兄さん、おねえさんと一緒に書き、その笹飾りをつけ、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました。飾り付けが終わった後はみんなで作った笹飾りの前で班毎の記念撮影です。みんなどんな表情をして移っているのでしょうか。とても楽しみです。



7日の夜に計画していた花火大会は、雨の為翌日に延期しました。花火大会では、喜んで次々に花火をしたがる子もいれば、怖がってなかなかしたがりません。来年はもっともっと楽しい七夕祭りになります。と思います。



1-2 班王

かずちゃん

☆ 家庭での紙切り板も発揮し、ママ飾りを小さくきざんでくれました。 ☆

こうちゃん

魚のさし飾りをきれいに切り抜き、たんぽぽは絵を看くことになりました。

みでちゃん

ママ飾り使って上手に形はふり、おまじないを上手に使って三角のつらみ枝ことになりました。

ひろしくん

☆ 飾りを作る時に星の形の飾り方をひろしくんの方からおねえさん作り方を教えること聞いてきてくれました。と上手に作りました。 ☆

しょうちゃん

お願いごとをいば、たくさん書いて七夕の夜には、一人でふ祈りをしました。おまじないにふ祈りしたのでした。

ていちゃん

はさみを使って、星を作ったり、いろんな形の飾りを作ってくれました。 ☆

はじめくん

はさみを上かへ使うことになりました。 ☆

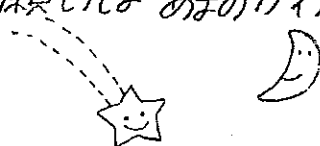
ひろしくん

きれいな飾り付けを見て喜んでいました。

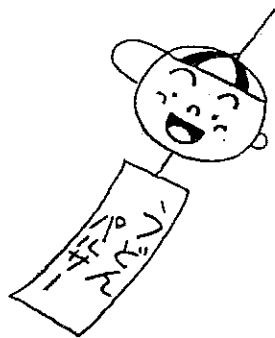
才4班の七夕飾りつけは皆それぞれ
自分のできる事を楽しんで作ってくれました。

さんき、のんき、げんき、かつきとかつきちゃん
は書いてくれたり、ハサミで思いのままに
色紙を切ってくれる のりくん、やっちゃん、文ちゃん。
かおちゃん、大好きなサインペンで色づけ
してくれる まーちゃん、願いごとをお姉さんと
一緒に書いてくれた はじめくん。

みんなの願いは あまのかわまで とどいた
かな？



たなはた まっ



七夕飾り

1 班

おりひめとひこぼしの再会のために私たちが
作った笹飾り。のぶちゃんは夜空を照らす
星。しゅんちゃんは天の川の通行手形。しげちゃん、
きよし君、たけちゃんは、BGMを奏でるセ
ミ、セミ、セミ。色紙をハサミで切ったり、折った
りして、いっしょうけんめい作っていました。

そして、たんざくには 思いのままの願いご
と、色とりどりのペンでたくさんたくさん書き
ました。

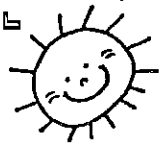
七夕の日はあいにくの雨で天の川は見えな
かったけど、みっちゃんのつくったおさかなは
今ごろ天の川で
泳いでいるの
かなあ。



『冷やめやし 厨房より』

そうめん

物語り』



6月3日の昼食、まさしくこの日は冷やしそうめんがおいしく食べられる絶好の日よりでした。暑い日に氷を浮かべて、冷たいそうめんを食べて貰おうと私達は張り切っていました。より一層おいしく食べるには、だしのきいた付け汁にひともじ、みょうがなどの薬味を浮かべそこに冷たいそうめんをつけて食べることです。しかしこれらのことが園生に出来るかどうか心配でした。付け汁は麦茶の色と似ているので間違つて飲みはしないかとか、薬味をそのまま食べたりしないかと思つたのです。だけど、色々と心配するより、とにかくやってみようということで、食事前に、職員に食べ方を園生の前でやってもらいました。私達の

心配は必要ありませんでした。上手においしそうに食べてくれました。ツルツルしたそうめんを箸でつかみ付け汁にうつして食べました。その付け汁にはひともじもみょうがも浮かんでいました。中には付け汁をおかわりに来る子もいました。私達にとって、残さずおいしそうに食べてくれるとホッとするとともに本当に嬉しくなります。おいしく作ることを第一に、これから少しずつのんびりと食事中の態度や食べかたなども教えていけたらいいなと思います。



中大羽目を終へて

尚絅短期大学2年

浮辺 智美

たった三日間の実習でしたが、とても楽しかったです。職員の方々は若くて親切でしたし、園生は

大物が勢ぞろいで、みんな個性的でした。特にFちゃんの歌声は今でも頭の中に残っています。あとは、Y Oちゃんの演歌好きには驚きました。最初は振り付けがついているのかと思ひ、感動して見ていたら曲と振り付けが合っていないので、違ふと悟りあの動きにはもっと奥深いものが隠されているのではないかと思ひました。あの動きと一番あうのは、小柳ルミ子の「お久しぶりね」だということ。私は知っています。

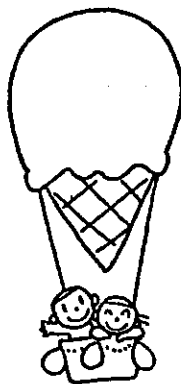
三日間でいろんなことを学び、疑問点もたくさんありました。今度からは自分の時間がとれたら三気の里に遊びに来て、園生と交流を深め、疑問点等を少しずつでも克服していきたいと思ひます。三気の里の実習生第一号を飾ることができ本当に光栄です。

後援会追加分(敬称略)

- 岩本商二 伊佐治 弘 小田郁夫
- 加藤勳子 栗林マス子 隈本 亨
- 城門千代 末友祥正 塚本謙二
- 保田周一 甲斐春好 松枝洋二
- 小田久美子 亀崎幸久
- 後藤清彦 坂本良臣
- 藤原サヨ 福永洋一
- 元田道雄

新たに十九名の方々のご協力を
頂くことになりました。

本当にありがとうございます。
もっともっと人の輪が広がりま
すように。



お父さん、
お母さんへ

この度、入園者のお父さん、お母さんで、父母の会を持つことにしたいと思えます。保護者会が2・3ヶ月に一度、施設側との連絡話し合いの場として開かれていきます。

これとは別に1ヶ月に一度、第2土曜日が全入園者の帰宅訓練日となっておりますのでこの第2土曜日の午後一時からお父さん、お母さんの親睦を目的として父母会を持つことにしたいと思います。

お父さん、お母さんのテーマは自由、自主参加にしたいと思います。一人でも多くのお父さん、お母さんの参加を希望します。

世話人

- 魚谷 福田
- 松枝 田中

★ 9月 行事予定 9月 ★	
8/14	誕生会(8・9月)
8/23	帰園日
8/24	夏期帰宅訓練 ~ 23日午後お
8/29	夏祭り
8/30	夏祭り前夜祭

続にうふえいす

私が木下です

事故(自己)紹介をします。私は七月から勤務している指導員の木下です。どうして、七月から勤務しているかというと三月十八日に事故を起こして入院していたからです。

御 礼

日用品、教材、教具などの御寄付を戴き有り難うございました。

ボランティアの皆様、いつも御

協力有り難うございます。今後共

よろしく御願ひ致します。

編集後記

暑中御礼申し上げます。
暑中、よく食べ、よく寝、しか
り下しては、います。お多野、入
り編集して参りました。
食は不届きです。夏休み、夏祭り
みいか、第 入園 多野

